

ITCが組成した医療搬送リース案件が現地で評価される

レユニオン島のTV局「Antenne Réunion」で放送されました！

オリンピックが無事終了し、パラリンピックの開催を間近に控えたフランスですが、弊社のリース先航空会社が仏海外県レユニオン島で展開している医療搬送事業が現地ニュース番組（番組名：LE12H30／放送日：今年7月9日）で紹介されました。

■ フランスの海外県「レユニオン島」での医療搬送について

フランス政府は2022年より「地域医療連携」強化による「医療格差是正」を主要政策として打ち出しており、今回報道された海外県（海外領土）レユニオン島における医療連携は正にその代表例となります。ITCの取引先であるフランスの航空会社は、2021年に保健省と契約を締結して以来、一貫してレユニオン島を基点として、マダガスカルを挟んで反対側にあるマヨット島を結ぶ医療用ジェット機が高度医療サービスを提供し、地域の医療格差是正に大きく貢献しております。



■ 代表取締役社長やパイロットへのインタビューも実施

航空会社代表取締役社長はインタビューに回答し、「レユニオン島の主要都市サン・ドニ市やピエルフオン市には、医療設備が完備されており、周辺フランス領土からレユニオン島に患者を緊急搬送させる手段として航空機を完備するのは、当然とも言える。」と発言。

ITC組成の「医療搬送向け」リース機体が現地TV局で紹介



（出所）全てフランスの民間TV局「Antenne Réunion」

当該機体の機長は、「航空機材であるリアジェットは、患者2名と医療チームを搬送する事が可能です。機内には治療で重要な酸素ボンベも設置されており、患者を容易に機内搬入出来る大型ドア装備。患者の搬入から出発まで3分程しか要しません。」と発言。念願の医療搬送ジェット機就航で、現地は歓迎に包まれた報道内容でした。

ITCは「公共性」・「社会貢献性」の高いリース事業を法人・個人の投資家様にご提供して参ります。ご関心をお持ちいただけましたら、是非ご連絡ください。